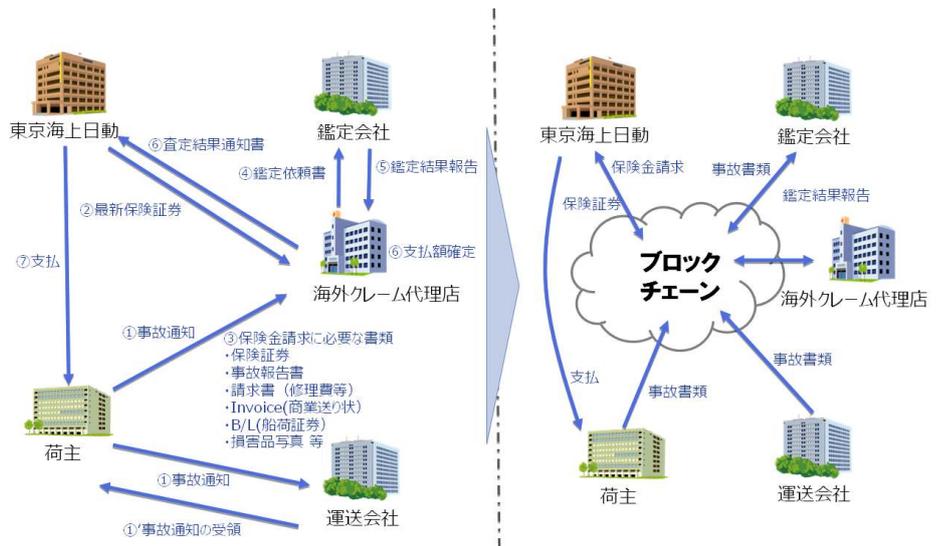


本日弊社ホームページでニュースリリース致しました、『外航貨物保険の保険金請求へのブロックチェーン技術適用に向けた実証実験の完了』につき、詳細お伝え致します。外航貨物海上保険における保険金請求プロセスへのブロックチェーン技術の適用を、世界 8 拠点で完了したのは国内で初めてであり、国際的にも先駆的な取り組みです。

### 1. 本取組の概要

海外で貨物事故が発生した際に、主に事故対応を行う拠点(海外クレーム代理店)が保険金をお支払いする際には、紙や PDF ファイル等で存在している事故報告書や貨物の損傷写真、Invoice(商業送り状)等の貿易関連書類ならびに保険証券を収集する必要があり、さらに保険会社へ補償内容をメール等で確認する必要があります。また、海外クレーム代理店と鑑定会社との間で、事故の内容等に関して情報共有も必要となります。このため、海外クレーム代理店が、世界中に点



在する貿易関連書類と最新の保険証券の収集、関係者との情報共有をいかに迅速かつ正確に実施できるかが、迅速な保険金支払い手続きを実現する上での課題となっています。「ブロックチェーン」はデータの耐改ざん性を確保した状態でネットワーク参加者間での情報共有が可能な分散ネットワーク技術であり、東京海上日動とNTTデータは 2017 年 11 月から、外航貨物海上保険における保険金請求プロセスへのブロックチェーン技術適用に向けた共同実証実験を開始しました。

### 2. 今回の実証実験 概要

本実験では、事故報告書や貨物の損傷写真、Invoice(商業送り状)等の実際の保険金のお支払い業務で利用したデータをブロックチェーン上に流通させて、欧州、米州、アジアの計 8 拠点の海外クレーム代理店ならびに鑑定会社へ速やかに共有され、保険金のお支払いプロセスに利用できるかを検証しました。技術面では、貨物の損傷写真やサーベイレポート(鑑定結果の報告書)などの大容量データを、ブロックチェーン上で円滑に参加者間で共有できることが確認できています。また、適切なアクセス性能や業務効率性の観点からの検証も行いました。検証の結果確認された期待される効果は下記の通りです。

	期待効果
被保険者 (荷主等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>保険金請求に必要な書類の用意や、提出にかかる業務の削減</li> <li>保険金支払いの迅速化 (最大 1 か月超が 1 週間程度まで短縮可能)</li> </ul>
保険会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>海外クレーム代理店への情報共有業務の削減</li> </ul>
海外クレーム代理店	<ul style="list-style-type: none"> <li>保険金請求に必要な書類のご案内、取り付けにかかる業務の削減</li> <li>保険会社へ保険の契約内容を確認する業務の削減 (時差により確認作業が遅延する等の影響を極小化)</li> <li>鑑定会社への情報を連携する業務の削減</li> <li>保険情報を含む必要情報の即時入手による保険金支払いの迅速化</li> </ul>
鑑定会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>早期の書類取り付けによる鑑定作業の迅速化</li> <li>保険の契約内容の即時入手による鑑定作業の品質向上</li> </ul>



### 3. 今後について

本実証実験を通じて、外航貨物海上保険の保険金請求プロセスへのブロックチェーン技術を適用することの有効性が確認できました。東京海上日動とNTTデータは、本実証実験を通して得られた課題への対応を継続して検討し、2019 年度中に一部を実用化することを目指して、取り組んでいきます。



本 Topics に関するお問い合わせ、ご意見、ご感想等ございましたら、弊社営業担当までお寄せください。編集にあたっては万全の注意を行っていますが、本 Topics 情報の正確性を保証するものではなく、これにより生じたいかなる損害に対して弊社は一切の責任を負わないものとします。

船舶・貨物・運送の保険の情報サイト「マリンサイト」

[http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/hojin/marine\\_site/index2.html](http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/hojin/marine_site/index2.html)